



支承の異常を活荷重波形で 検知する技術 (K-CoB解析)

蓄積された変位計測データをもとに、車両通行時の支承の挙動を可視化・整理します。
データ解析結果から得られる傾向を元に、客観的な損傷判定を行います。

本技術の特徴

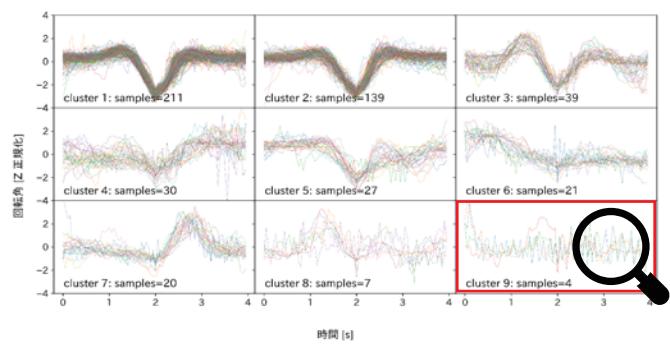
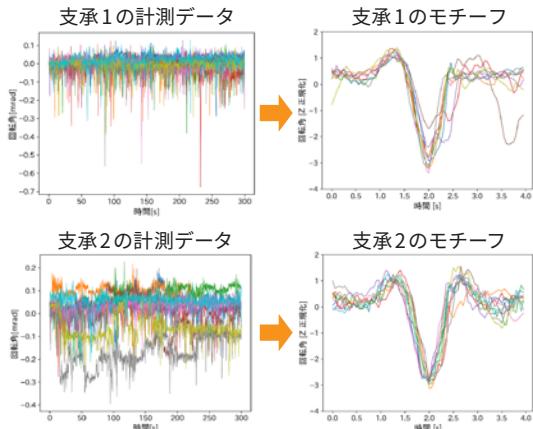
- ① 各支承の変位データから、比較可能なパターンを自動で抽出。
- ② 複数橋梁に共通するパターンをクラスタリング技術で分類。
- ③ 正常・異常を示す挙動をデータベース化し、損傷の兆候を推定可能。

得られる効果

- ▶ 損傷の早期発見…重大損傷に至る前に、変位パターンの異常からその兆候を推定します。
- ▶ 維持管理の効率化…点検や補修の優先順位を決める際に活用できます。

各支承のパターン (モチーフ) を抽出

クラスタリング分類の例(支承50基のデータより)



解析結果から損傷を検証 (損傷の疑いあり)



点検記録と比較することで、
より確実な損傷推定が可能です



株式会社 川金コアテック

計測調査事業